

ikeco

2021
Vol.35

“住む人が主役の家づくり”に、もっとファンを!

地域環境に適した住宅
全国一律規格ではない、
気候風土や文化に
根ざした地域性を
反映させることは、
“住宅づくり”の醍醐味です



西方設計
西方里見氏

- 木繊維断熱材はエコロジーでパウビオロジー
- 木繊維断熱材の性能
- 木繊維断熱材の日本での実践

木繊維断熱材の屋根
充填断熱工法の
短計図 他

建築家が語る
木繊維断熱材
シュタイコの魅力



ホームページ
に
コラム
掲載中

カルクウォール
バケツのデザイン
が変わります。



抗菌試験でスイス漆喰の
効果が実証されました

天然スイス漆喰カルクウォールは、スイスの伝統製法を守り、スイスアルプス産出の高純度の石灰石を主原料することによってpH13程度という強いアルカリ性を実現し、その抗菌・抗ウイルス効果を高めています。

Calk Wall



セミナーレポート

『夏に効く』STEICO
木繊維断熱材セミナー
VOL.5

講師: 辻充孝氏
岐阜県立森林文化アカデミー准教授

WIFI解説 3/23開催



住育セミナー
講師: 田村美奈子氏
One's work

3/11
開催



「住育セミナー」～お家をパワースポットに!～
お客様の深層心理を引き出すシンプルな
ヒアリング術

「住育」でプランニングが変わる! 実践シェアワークで盛り上がりました。

オンラインセミナー随時開催中! ホームページからお申し込みください。

カレンダーの施工写真募集!!



来年のカレンダーに掲載する
施工写真を募集しています。

A2サイズ (420×594mm)

弊社の商材を
ご採用いただいた施工写真
(2020年～2021年)

メディア掲載情報

MODERN LIVING
モダンリビング
No.255

2021年
2月5日
発売

ハースト
婦人画報社



SNSで施工事例・イベント情報など
更新しています

Instagram @ikedacorporation Twitter @iskcorp Facebook @ikeco.jp YouTubeチャンネル イケダコーポレーション

ご登録
お願いします

仙台営業所移転しました
〒989-6162
宮城県大崎市古川駅前大通2-1-7
TEL:(0229)87-4435 FAX:(0229)87-4436
担当: 田中



ひとと環境にやさしい住まいづくり
株式会社イケダコーポレーション

ご注文・カタログのダウンロードはWEBから

☎0120-544-453 仙台・東京・名古屋・大阪・福岡 URL www.iskcorp.com



30年間ご愛顧



ありがとうございます

30周年を迎えるイケダコーポレーションにメッセージをいただきました。

イケダコーポレーション30周年
誠におめでとうございます。

池田社長の自然素材に対する熱い想いと行動
力が貴社を産み、共感する社員さん達とともに
育てて来られ、脈々と続いた賜と存じます。

これからもますます環境に優しい建材のパイ
オニアとして邁進されます事を願い、期待して
おります。



江藤真理子氏/空設計工房
http://www.sola-web.com

「パウビオロジー」の思想に基づき、地球・環境・家族・健康・快適を考えたパッシブデザインの住まいづくりを行う。1998年第2回エコハウツーアに参加。パッシブハウスの先駆者で日本パウビオロジー研究会、パッシブハウスジャパン等に所属。ECO-HOUSE AWARD、日本エコハウス大賞 優秀賞他多数受賞。

20年の軌跡『エコバウ建築ツアー』 報告記をホームページで公開中

1997年のドイツ訪問から始まり、20年以上継続している「エコバウ建築ツアー」。エコロジー建築とパウビオロジーを学ぶべく、エコ先進国である欧州をめぐりさまざまな建築や建材メーカーを訪ねて回りました。年々法律や規制も見直され、その年ごとに様々な変化や進化



があり、各国においての政策や国民性など、常に新たな発見がありました。イケダコーポレーション創立30周年を機にこれまでのエコバウ建築ツアーを報告記として掲載してまいります。

木繊維断熱材シュタイコ
製品詳細Webページが
できました。

これからの断熱には、寒さだけでなく夏の暑さを防ぐ性能が求められます。シュタイコ断熱工法は、非常に高い熱容量と低い熱伝導率で、日本の灼熱の真夏でも快適な暮らしを実現します。

https://mokudannetsu.com



充填断熱に
シュタイコ フレックス038

付加断熱に
シュタイコ プロテクト

吹込断熱材 新製品
シュタイコ ゼル



製品詳細、防火性
施工動画
資料・サンプル請求
もこちらから



外壁：カルクファサード

“寒い” “暑い”の ストレスから心地よさへ

Mさんご夫妻は、いずれ戸建ての家に住みたいと思っていたものの、それまではマンション住まいが多かったそうです。「転勤もあり、マンションに住むことが多かったのですが、東京から福岡に戻って来たときには戸建ての住宅を借りたんです。」と奥さま。その社宅での暮らしは「築20年を超えるプレハブ住宅で、冬は寒くて夏は暑くて大変だったんです。冬はあちこち結露するし、夏もトイレなどにカビが生えたりしました。」と話され、ほとんど断熱効果を感じることがなかったそうです。マンション住まいでは感じなかった断熱の重要性を、お二人は身をもって体験されたのです。「モデルハウスを見に行っても、断熱性のことはばかり聞いていましたね。家づくりの勉強を進めていく中で、温熱環境と健康の因果関係を耳にし、環境に負荷をかけない、パッシブデザインに出会いました。」



ご主人の思いに込める形で、壁にウッドチップを用いたオガファーマーを使用し、床には厚みのある杉の無垢材にリボス自然健康塗料を用いました。そして、Mさんご夫妻が最も重視していた断熱材には、自然素材である木質断熱材「シュタイコ」、外壁にスイス漆喰が採用されました。



ミックス



壁：オガファーマー ミックス

新建材の劣化より 自然素材の経年変化を選ぶ

ご主人はさまざまなハウスメーカーや工務店の家づくりを見て学ぶうちに断熱性の高さだけでなく、自然素材の魅力や家づくりに携わる職人の技、手間を掛けることの価値を意識するようになったといいます。「ビニールクロスなどは、最初はきれいですが時間が経つにつれ劣化していきますよね。でも自然素材は劣化というよりも味わい深くなっていくように感じます。」結局ご主人は、こうした価値感を共有できる設計事務所「空設計工房」に家づくりをお願いすることにしました。



床：リボス アルドボス

進む気候変動で求められる夏の断熱性能

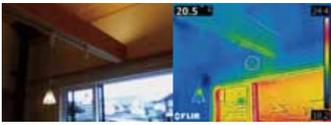


熱容量・透湿性を備えたこれからの断熱材「シュタイコ」は断熱性の高さはもちろん、他の断熱材にはない木繊維だからこそその魅力を備えています。熱容量や透湿性が高いのが最大の長場で、熱容量の高さは室温の平準化に寄与し、透湿性の高さは室内空気の調湿性に貢献します。

ご主人が家族に伝えたかったことは 伝わったように思います。

新ストーブ一つをとっても、反対していた家族も、炎の揺らめきと空気を暖めず放射熱で体や家の中を直接暖める暖房の心地よさを体感した後は、「薪が焼ける香りも好き〜」と言ってくれるまでになりました。今は、庭づくりに取り組んで単に眺めるだけでなく、外に出たくなる庭にしたいということです。「蛭が棲むような庭にするのが夢です。ミツバチも飼いたいですね。」とても幸せな笑顔をいただきました。自然素材に囲まれた空間の居心地を体感した家族全員が、ストレスを感じない日々の生活を通してますます自分たちの家が好きになっていくといいですね。

Mさんご一家は、2020年7月に引渡し、8月の1ヶ月間気温30℃超えの猛暑、酷暑だったにも関わらず、小さなエアコンだけで過ごせたとも話してくださいました。「寒かった今年の1月初旬、外気温-4℃で積雪したときでも、明け方の室温は18℃を下回ることもなく、そういう夏も冬も家の中であまり温度差を感じません。あと、空気がきれいな感じがして、夏でもムツとした感じがありませんでした。」ご主人は夏場の湿度を記録されていて、**ほぼ湿度は60%前後に抑えられていた**ので、家が完成する前から断熱性や熱容量、透湿性の高さの恩恵を享受されていたということでした。「おかげで夏のDIYも楽にできました。建築中の大工さんも仕事しやすいとしきりにおっしゃっていましたね。」設計された江藤さんが撮影されたサーモカメラの画像からも、家中の壁の表面温度が**いずれも20℃前後**を示しており、温度差がないことがよく分かります。ご主人は「今後はさらに暑さや寒さが厳しくなるように思いますから、断熱性の高さだけでなく、熱容量や透湿性といった要素も必要性が増しているのではないですか。」と取材の最後にお話して下さいました。



撮影は2020年12月29日14時(外気温15℃)。朝の冷えている時間帯(最低気温5℃)を過ぎて暖房を切ってから室内は無暖房。



光が丘の地域環境に適応したZEH

パッシブデザインとバウビオロジーを取り入れ、地域風土に適応した環境判断を行い、地域の工務店で地域の職人による極力地域材を用いた心地よくてゼロエネルギーの健康に良い家。

設計監理：福岡市 空設計工房 江藤真理子
施工：筑紫野市 株式会社八双建設



玄関の壁には建築に関わった業者さん達への「感謝」の言葉